



日本拳法宗家

故 澤 山 宗 海 先生

日 本 拳 法 概 説

日本拳法は、故澤山宗海宗家が昭和7年に日本で初めて防具着装による実戦の拳法を創始されたことにその歴史を発しています。安全な防具を着装することにより、突き・蹴り・投げ・逆捕りのすべての実戦練習が可能となり、格闘技の神髄を追求すべく日本拳法が誕生しました。

従来、突き・蹴り技は格闘技の歴史の始まりである古代相撲においても、戦国時代の武家の体術である柔術においても重要な決め技であったのですが、安全性を重視するために次第に禁じ手とされてきました。

また、中国から沖縄に渡来して発展した唐手もその強力な打撃力のため、形稽古または寸止めにての組手稽古をせざるを得ませんでした。剣術が江戸時代に防具が創案されてから飛躍的にその技術が発達したのと同様に、日本拳法も突き・蹴りの実戦の拳技をみがくために必然的に発生した武道といえます。

現在の日本拳法は3本勝負法で勝敗が決められます。つまり、2本先取りした方が勝ちとなります。この1本は防具着装部（面・胴）に形にのつとった強烈な突き・蹴りが決まった場合に認められます。この認定は公平を期するために、3人の審判員の2人以上の認定を必要とし、観客に分かり易くするために、審判員の意志表示は旗によって進行いたします。

また、次のような場合も1本と認定されます。

1. 相手の体を組み敷いて、型どおりの空突き・空蹴りを決めたとき。
1. 逆技を決め、審判が認めるか、相手が参ったの意志表示をしたとき。
1. 相手の体を自分の肩の高さ以上に持ち上げたとき。
1. 相手が故意に場外に逃げ出したとき。

その他、詳しい競技規則は後述する大会試合規定をご参照の上で、日本拳法の競技をお楽しみ下さい。



ごあいさつ

日本拳法連盟

会長 野坂 法雄

本日、この今治の地に於きまして「日本拳法愛媛県選手権大会」が盛大に開催されることを祝し心よりお慶びを申し上げます。

本年の五月、同じくこの地で日本拳法四国選手権大会が開催され、私もご招待をいただきました。春の日映い日差しの中、かの名横綱双葉山の像を見上げ、大会会場では闘気溢れる皆さんの試合を観て、この地は全国でも有数の日本拳法の普及の地となると、その勢いを感じ入りました。そして、愛媛県連盟の会長である村上氏のお話を伺うに至り、この思いは確信と変わりました。

日本の武道の原点は「古代相撲」に求められています。ただ、その相撲の中身は現代の大相撲とは若干異なり、突く打つ蹴る投げる折るという当身技も組み打ち技も全て認められた総合格闘技、まさに死力を尽くした闘いであつたと伝えられます。まさに私どもの日本拳法の源流もそこにあります。

日本拳法は防具を着装することで、この武術の源流をそれに最も近い形で安全に学ぶことを可能としたわけです。

一方で、日本拳法の普及発展には、明日を担う少年少女にこの道を伝道することが不可欠です。このように厳しい武道の修練の道を通し、自然の大きな力に畏敬を思い、痛みを知ることで人への思い遣りに触れ、自らを厳しく律することで正しい道を歩むことができる。このことを一人でも多くの青少年に知っていただきたいのです。

愛媛県が日本拳法有数の普及の地となるべく、この今治を振り出しとし、村上会長の指揮のもと、県連盟の役員の皆様、現場で指導にあたる指導者の皆様には、さらに倍旧なるご協力を賜りたい、この思いが現実となるようご尽力をいただきたいと存じます。

さて、今年の夏は連日三十度を遥かに超える真夏日が続く、空前の猛暑となりましたが、時は既に10月、本格的秋の到来です。食欲の秋、スポーツの秋、そして拳法のシーズン到来でもあります。選手諸君には、日頃の鍛錬の成果を発揮し、浚刺として闘気溢れる好試合を展開されることを期待します。

また、末筆になりましたが、本大会関係者の皆様にはますますのご健勝とご発展を祈念し、挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

今治市議会議員

大会会長 井手 洋 行

第6回日本拳法愛媛県選手権大会が盛大に開催される事を心からお祝いを申し上げますとともに、県内外から起こしいただいた皆様を心から歓迎いたします。

今治市と越智郡11町村が合併して誕生した新「今治市」五周年という記念すべき年に、今治市で二回目となる大会を開催出来る運びになりました。

本大会は、日本拳法の普及はもとより、武道を通じて青少年の健全育成と「中四国地区交流推進大会」として地域社会の活性化にも大きく貢献しております。これもひとえに関係者のご熱意とご努力の賜と、心から敬意を表します。

古くからの言葉に「心・技・体」というのがあります。

「心・技・体」とは、「三位一体」が大切とされていますが、どれ一つ欠けても満足な成果は成し遂げられません。

「心・技・体」のバランスが非常に大きな要素ですが、学校でも仕事でも一般社会においても同じ事が言えます。

武道の精神の中には、人として大切な事がたくさん詰まっています。

己の「心・技・体」高め、人として大切な事を、日本拳法を通じてたくさん養っていただきたいと思います。

選手の皆様におかれましては、本大会を通じて、日頃の鍛錬の成果を十分に発揮され、友好・親睦を深めあう貴重な機会としてお互い励ましあいながらご健闘されます事をご期待申し上げます。

最後になりましたが、昨年に引き続き今治市でこのような素晴らしい大会が開催されるのも、大会の準備・運営にご尽力下さいました関係各位の皆様にご心よりお礼申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



ごあいさつ

愛媛県日本拳法連盟会長
日本拳法今治スポーツ少年団団長
大会実行委員長 **村 上 泰 史**

第6回日本拳法愛媛県選手権大会開催にあたり、ご挨拶申し上げます。

リーマンショックの負の連鎖を断ち切れない中、日本経済は厳しい状況下
にあり、円高と株安の追い打ちで、企業経営も国民生活も先行き不透明感が
増大しており、未だに不況から脱していないのが現状です。

そのような状況の中で、今治市と越智郡11町村が合併して誕生した新「今
治市」五周年記念の本年、中四国各県から多数の選手の参加を得て、昨年に
引き続き、今治の地で二回目となる日本拳法愛媛県選手権大会を開催できる
運びになりました。又我が母校中京大学の日本拳法部OB諸兄の皆様が中部、
関西よりチームを結成し本大会に参加して花添えて頂くなど、温かい後方支
援に感激も一入であります。大会開催にあたり、多大なる温かいご支援で支
えて頂いた関係各位の皆様方に心より厚く御礼申し上げます。

さて、持続的な地域社会の発展には、次世代を担う青少年の育成が欠かせ
ません。次世代を担う子ども達の心身健やかな育成は、日本国民、地球の一
員として私達大人の重要な責務であり、未来のまちづくりへの投資でもあり
ます。

「地域社会を元気に、地方の元気が日本の元気！」

「子ども達の元気が日本の元気！」

今日一日が、日頃の鍛錬の成果を十分に発揮し熱戦を繰り広げ、元気で活
気溢れる有意義な良き一日となりますように。

日本拳法を通じて、地域や世代を超えた幅広い交流の場として、これから
の地域の発展や次世代を担う青少年の健全育成や、地域社会に貢献し、地域
社会の発展に寄与し、「元気な日本」復活のキーワードになりますよう祈念
致します。

最後に大会開催にあたり、日本拳法連盟、愛媛県、今治市、ご理解を頂き
広告協賛を頂いた企業の皆様方、並びに関係各位の多大なる温かいご支援と
ご理解とご協力に、心より深い敬意と感謝を申し上げご挨拶とさせていただきます。



祝 辞

今治市長

菅 良 二

第6回日本拳法愛媛県選手権大会が、県内各地から大勢の選手並びに大会関係者の皆様方をお迎えし、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

日本拳法の正しい普及と地域の振興及び生涯学習の伸長を目的とする本大会が今回で6回目を迎えられたのも、ひとえに愛媛県日本拳法連盟をはじめとする日本拳法を愛する皆様のご尽力の賜でございます。県内各地域において日本拳法を通じて、青少年の心身の鍛錬と健全育成に多大の貢献をされておりますことに、深く敬意を表する次第でございます。

拳法は、日本古来の武道であり、日々の鍛錬を通して、肉体を鍛えるだけでなく、挨拶や言葉遣いなどの礼節を尊び、正々堂々と勝負する姿勢、相手の気持ちを思いやる優しさを身に付けることのできる、まさに「人間力を高めるスポーツ」であると言えます。

本大会に出場される県内各地から選ばれた各年代のトップ選手の皆様方におかれましては、日頃の鍛錬の成果を存分に発揮され、愛媛県日本拳法の最高峰の試合がここ今治市において展開されますようご期待申し上げます。

終わりに、本大会の開催にあたりご尽力された愛媛県日本拳法連盟並びに日本拳法今治スポーツ少年団をはじめ関係各位に厚くお礼申し上げますとともに、本日ご参加の皆様方のご健勝を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。

大 会 役 員

大会会長	井 手 洋 行 (今治市議会議員)
実行委員長	村 上 泰 史 (愛媛県日本拳法連盟会長)
来 賓	菅 良 二 (今治市長)
	犬 塚 矜 哉 (日本拳法連盟理事長)
	福 永 正 人 (日本拳法連盟常任理事審判部長)
	松 田 牧 (日本拳法連盟常任理事指導部長)
	福 島 利 治 (中京大学拳真会会長)
	竹 内 耕 一 (中京大学拳真会常任理事)
	(元全日本学生個人選手権大会優勝者)
	国 塩 幸 平 (日本拳法連盟常任理事・日本拳法岡山県連盟専務理事)
	清 原 眞 治 (日本拳法連盟徳島県支部理事長)
	樋 口 健 二 (日本拳法連盟徳島県支部支部長)
	佐 藤 博 美 (香川拳法クラブ代表)
	公 文 延 晴 (高知拳法クラブ代表)
	神 川 孝 紀 (広島拳法クラブ代表・広島大学拳法部監督)
	黒 津 都 務 (楠州会四国支部支部長)
	蔵 本 雅 史 (志道館代表)
	郡 正 彦 (方上拳法クラブ代表)
	鈴 田 直 城 (土成道場代表)
	玉 城 敦 (陸上自衛隊善通寺代表)
	西 川 修 (広島拳友会代表)
	野 崎 真 弘 (岡山瀬戸内道場代表)
	富士原 孝 憲 (拳心館広島支部支部長)
	日 谷 政 規 (岡山県総社道場代表)
	森 脇 太 (国府道場代表)
	山 下 佑 治 (徳島大学渭水拳友会会長)

大会審判団

審判長	福永 正人（七段）
副審判長	松田 牧（六段）
審判員	樋口 健二（六段） 公文 延晴（五段） 黒津 都務（五段） 西川 修（五段） 森脇 太（五段） 井原 勇規（四段） 鈴田 直城（四段） 中山 昭彦（四段） 馬場 深（四段） 富士原孝憲（四段） 村上 泰史（四段） 武田 雅昭（三段） 藤原 義章（三段） 西野 元（三段） 矢野 公喜（二段）

愛媛県日本拳法連盟役員

顧問	井手 洋行
会長	村上 泰史
理事	中岡 大起 宮澤 圭典 渡辺 敦 矢野 公喜
理事・事務局長	西野 元
事務局次長	松本 徹
事務部	矢野 美香

大会実行委員

大会企画	毛利 美紀雄
大会運営総括	安野 健一 上原 寛 門田 省吾 岡部 起代子 日本拳法今治スポーツ少年団育成母集団の皆様
大会事務局長	松本 徹

大会 順 序

開 会 式

1. 選手入場・役員整列
2. 開 会 の 辞
3. 国 歌 斉 唱
4. 大会会長挨拶

今治市議会議員

井 手 洋 行

5. 来 賓 挨 拶

日本拳法連盟理事長

犬 塚 矜 哉 様

今治市長

菅 良 二 様

中京大学拳真会会長

福 島 利 治 様

6. 来 賓 ご 紹 介

7. 審 判 長 挨 拶

日本拳法連盟常任理事・審判部長

福 永 正 人 様

8. 選 手 宣 誓

今治市立日高小学校 3 年生

廣 瀬 寛 人 選手

今治市立常盤小学校 4 年生

浜 本 ひ ま り 選手

9. 選 手 退 場

閉 会 式

1. 選手入場・役員整列
2. 入賞者表彰
3. 講評

日本拳法連盟常任理事・指導部長

松 田 牧 様

4. 実行委員長挨拶

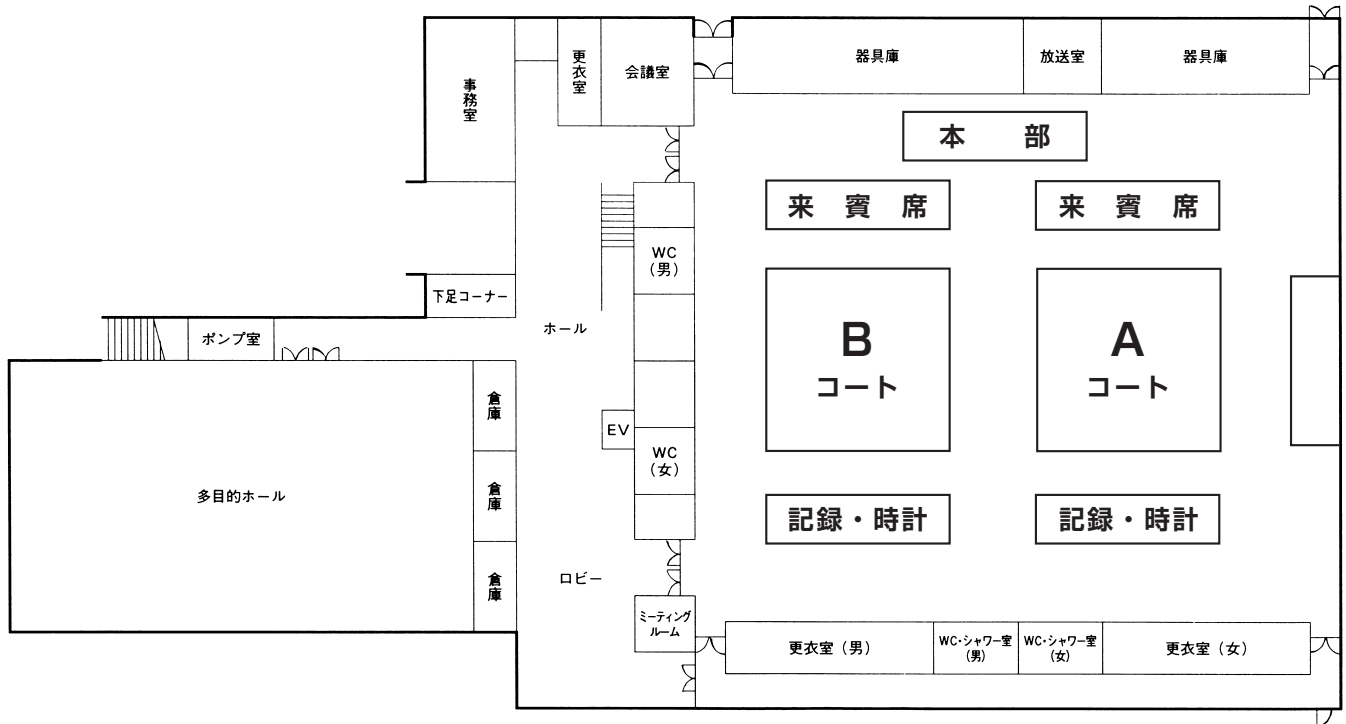
愛媛県日本拳法連盟会長

村 上 泰 史

5. 閉会の辞

6. 選手退場

会 場 図



タイムスケジュール

10:00	開会式	10:00 10:30									
10:40	午前の部 (団体戦)	10:40	Aコート				10:40	Bコート			
				団体数	試合数	所要時間			団体数	試合数	所要時間
			団体戦	6	5	60		団体戦	7	6	72
11:52	休憩										
12:50	午後の部 (個人戦)	12:50 13:06 13:18 13:50 14:06 14:48 14:56 15:00 15:52 16:00	Aコート				12:50 13:10 13:28 13:48 14:20 14:56 15:00	Bコート			
				選手数	試合数	所要時間			選手数	試合数	所要時間
			幼年	6	8	16		小学1年(男)	8	10	20
			小学1・2年(女)	5	6	12		小学2年(男)	7	9	18
			小学4年(男)	11	16	32		小学3年	9	10	20
			小学4年(女)	6	8	16		小学6年	11	16	32
			小学5年	15	21	42		中学生(男)	12	18	36
			中学生(女)	4	4	8		合計	47	63	126
			合計	47	63	126			選手数	試合数	所要時間
			一般段外	27	26	52		一般段外	27	26	52
			一般女子	4	4	8		合計	27	26	52
			(三位決定戦～決勝)	4	2	4			団体数	試合数	所要時間
			合計	35	32	64		(三位決定戦)	2	1	12
				団体数	試合数	所要時間					
16:04	(団体戦)		(決勝戦)	2	1	12					
16:30 17:00	閉会式										

大会競技規則

団体戦

1. 試合方法

- ・対試合は五人制とし、勝者数の多いチームの勝ちとする。
- ・3本勝負（2本先取した者の勝ち）とする。
- ・勝数が同数の場合は、以下の順に勝敗を決するものとする。

①総得点数

②総失点数

③総警告数

さらに同数の場合、代表者による決定戦を行い、勝敗を決する。

代表戦本戦で勝敗が決しない場合は、時間無制限1本勝負によってこれを決する。

2. 試合時間

- ・試合時間は2分間とする。主審より指示がない限り時計は止めない。

3. 対試合における選手の配列

- ・有段者を有するチームは、必ず大将に有段者を配さねばならない。
- ・出場選手が定員に満たない場合、大将、先鋒以外の選手の配置は自由とする。但し、両チーム共に定員に満たない場合は、大将、先鋒以外の選手の配置は、提出されたメンバー表の順に副将より後詰めとする。

4. 登録選手の入替え

- ・前日までに届出の無い当日の変更は、理由の如何に関わらず認めない。
- ・登録選手以外の出場は、当日の全試合を失格・没収試合とし負けとする。
（試合後、発表後の発覚であってもこれに準ずる。）
- ・チームの登録選手が止むなき事情により欠員が生じ、チーム編成（5名）が不可能になった場合に限り、5名に満たない不足者数に対してのみ補充を認める。

5. その他は、日本拳法全国連盟競技規則に準じて実施する。

大会競技規則

少年の部（幼年・小学生・中学生）

1. 試合方法

- ・ 3 本勝負（2 本先取した者の勝ち）とする。
- ・ 1 本先取後、試合時間終了の時、1 本先取者の優勢勝ちとする。
- ・ 試合時間内に勝敗が決しない時、判定によって勝敗を決する。
- ・ 決勝戦のみ、試合時間内に勝敗が決しない時、1 分間 1 本勝負の延長戦を行う。さらに勝敗が決しない時、延長戦における判定によって勝敗を決する。
- ・ 警告は 3 回で 2 本負けとする。

2. 試合時間

- ・ 試合時間は 1 分 30 秒とする。主審より指示がない限り時計は止めない。

3. 顔面への攻撃は全て「空撃」で当てない。又、顔面への蹴り技は横蹴りのみとする。

4. 敗者復活戦のエントリーは、一回戦を勝ち上がった者(不戦勝を含む)を除く。

5. その他は、日本拳法全国少年連盟競技規則に則って行います。

一般男子段外、一般女子の部

1. 試合方法

- ・ 3 本勝負（2 本先取した者の勝ち）とする。
- ・ 1 本先取後、試合時間終了の時、1 本先取者の優勢勝ちとする。
- ・ 試合時間内に勝敗が決しない時、判定によって勝敗を決する。
- ・ 三位決定戦、決勝戦のみ、試合時間内に勝敗が決しない時、時間無制限の 1 本勝負の延長戦により勝敗を決する。

2. 試合時間

- ・ 試合時間は 2 分間とする。主審より指示がない限り時計は止めない。

3. その他は、日本拳法全国連盟競技規則に則って行います。

団体戦 出場者名簿

今治拳友会

代表者 村上泰史

村上泰史	四段
長橋伸二	二段
松本徹	1級
阿部直仁	1級
越智裕保	無級
矢畑和哉	無級
平野航太	無級
宮里優紀也	無級

松山拳友会

代表者 矢野公喜

中岡大起	四段
高尾孝一郎	三段
矢野公喜	二段
山村忠弘	二段
近藤弘章	2級
山邊伸也	無級

中京大学拳真会

代表者 竹内耕一

笹部信彦	五段
岩井秀記	五段
沢田一朗	四段
平野誠二	三段
吉武祥平	三段
竹内耕一	五段
稲垣晴大	四段
西野元	三段

団体戦 出場者名簿

岡山商科大学日本拳法部 A

代表者 亀 山 浩 太 郎

亀	山	浩	太	郎	二段
延	藤		潤		二段
細	野	翔	太		初段
洪	谷	典	広		初段
大	田		隼		1 級
須	郷	大	地		2 級
大	元	一	憲		2 級

岡山拳桃会

代表者 野 崎 真 弘

藤	原	義	章		三段
蘆	田	洋	嶋		三段
森	若	新	平		三段
門	田		剛		三段
水	嶋	康	二		三段
青	木	一	真		1 級
河	崎		龍		1 級
青	木	傑	志		1 級

岡山商科大学日本拳法部 B

代表者 亀 山 浩 太 郎

稲	本	博	孝		1 級
大	口	和	真		1 級
高	橋		諒		1 級
安	藤	宗	久		1 級
岩	津	未	来		2 級
高	橋	憲	人		2 級
高	森	幹	哉		3 級

団体戦 出場者名簿

香川拳法クラブ

代表者 佐 藤 博 美

佐	藤	智	之	四段
佐	藤	正	典	四段
森		英	之	三段
曾	根	英	雄	二段
宮	武	寛	幸	初段
寺	本	嘉	文	1 級
曾	根	龍	貴	1 級
佐	川	匡	貴	3 級

日本拳法連盟徳島県支部

代表者 樋 口 健 二

井	原	勇	規	四段
武	田	雅	昭	三段
岩	井	亮	輔	三段
元	木	修	司	二段
柴	田	幸	二	二段
濱	尾	眞	一郎	二段
藪	原	啓	晃	二段

高知拳法クラブ

代表者 公 文 延 晴

公	文	延	晴	五段
中	山	昭	彦	四段
河	村	神	州	三段
楠	見	博	文	二段
植	田	高	志	1 級
門	田	和	久	2 級

徳島大学渭水拳友会

代表者 真 鍋 祐 矢

北	川	浩	也	二段
真	鍋	祐	矢	1 級
井	手	張	良	1 級
西	川	大	祐	1 級
千	谷	尚	輝	無級

団体戦 出場者名簿

陸上自衛隊善通寺 A

代表者	玉	城	篤	
池	田	大	作	初段
藤	本	宏	昭	無級
岡	部	雄	一	無級
宮	川	昇	蔵	無級
松	岡	雅	芳	無級
川	向	敦	支	無級
土	井	大	介	無級

広大拳法部、広島拳法クラブ混合チーム

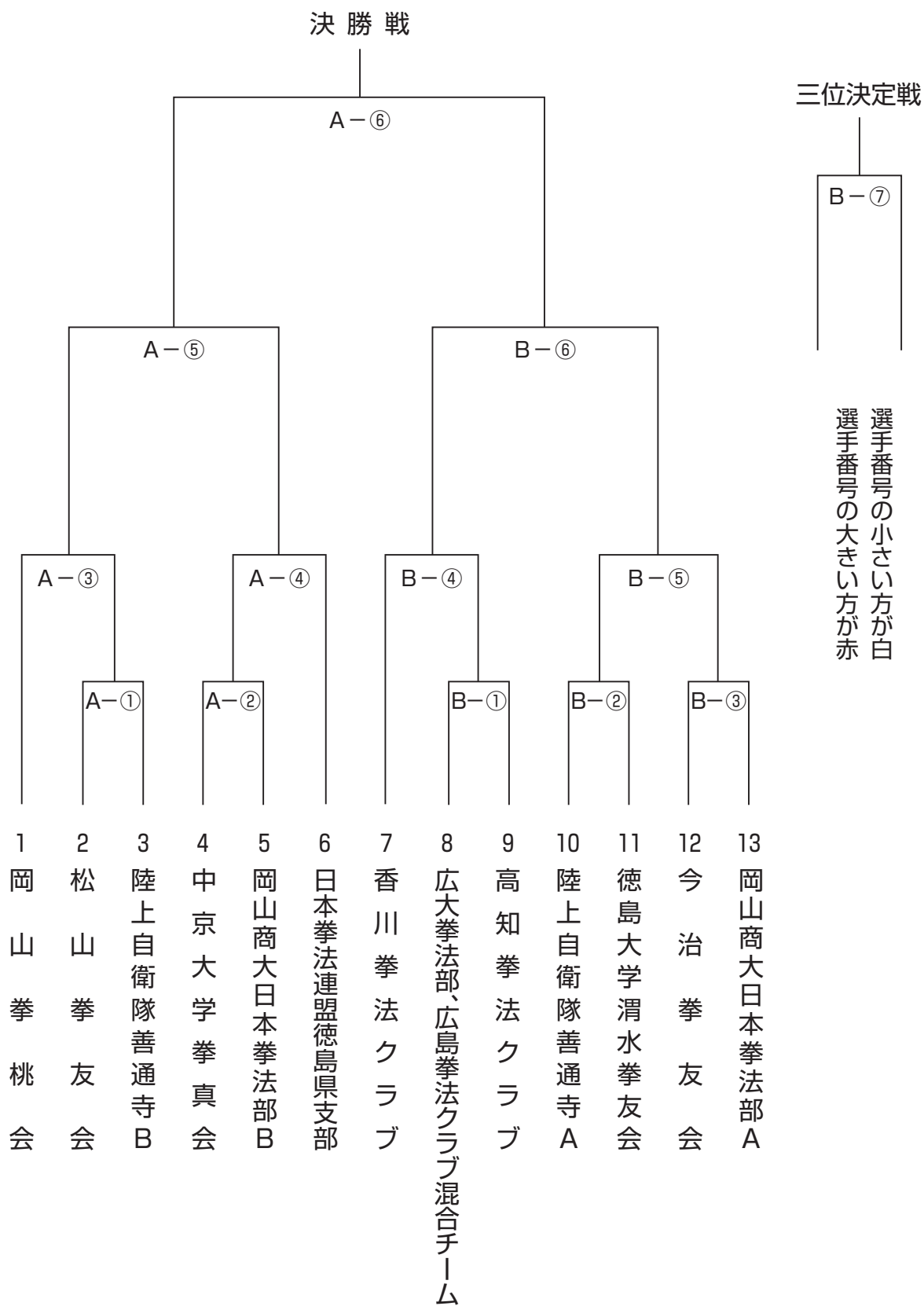
代表者	山	部	孝	弘	
金	森	裕	次		四段
山	部	孝	弘		三段
藤	原	和	紀		二段
山	中	謙	太 郎		1 級
前	田	晃	輝		2 級
土	岡	寛	和		2 級
吉	田	修	一 郎		2 級
前	田	和	孝		3 級

陸上自衛隊善通寺 B

代表者	久	野	勝	己	
長	谷	知	明		無級
宮	川	雄	介		無級
岡	山	真	治		無級
大	谷	翔	司		無級
岡	田	大	樹		無級
青	木	隆	文		無級
山	口		毅		無級
福	島	楠	生		無級

試合組み合わせ

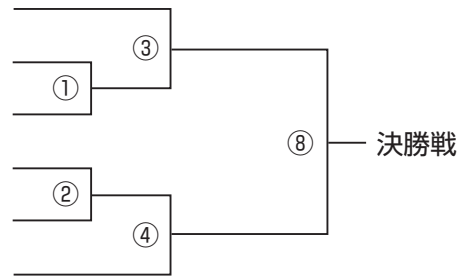
■団体戦



試合組み合わせ

■幼年の部 8 試合

- | | | |
|---|-------|------------------|
| 1 | 中川 和真 | 無級 (徳島 / 土成道場) |
| 2 | 新舎菜々美 | 無級 (岡山道場) |
| 3 | 矢野 正宗 | 10級 (愛媛 / 東温拳友会) |
| 4 | 田村虎太郎 | 10級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 5 | 西川 春太 | 10級 (広島拳友会) |
| 6 | 柳井 将希 | 無級 (岡山道場) |



①の敗者

②の敗者

③の敗者

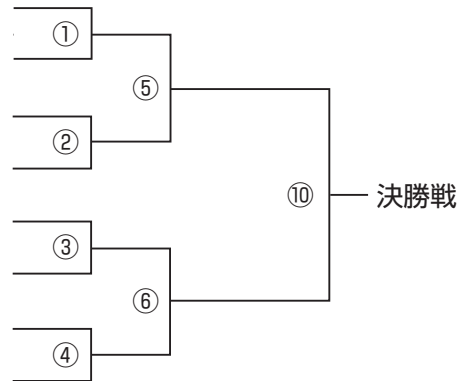
④の敗者



選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

■小学1年生男子の部 10 試合

- | | | |
|---|-------|-----------------|
| 1 | 中川 裕翔 | 7級 (徳島 / 土成道場) |
| 2 | 柴田 恭輔 | 無級 (徳島 / 楠州会) |
| 3 | 竹岡 大輝 | 無級 (徳島 / 楠州会) |
| 4 | 三浦崇太郎 | 無級 (徳島 / 土成道場) |
| 5 | 廣瀬 合輝 | 9級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 6 | 宗本 有生 | 無級 (徳島 / 楠州会) |
| 7 | 柳井 隆希 | 無級 (岡山道場) |
| 8 | 郡 蓮太 | 無級 (徳島 / 国府道場) |



①の敗者

②の敗者

③の敗者

④の敗者

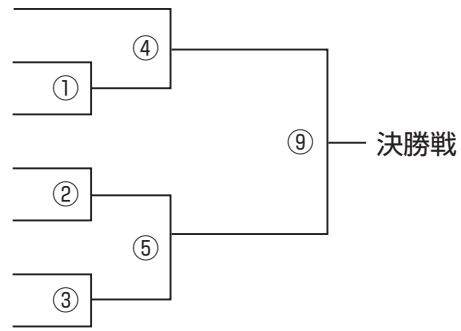


選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

試合組み合わせ

■小学2年生男子の部 9 試合

- | | | |
|---|-------|--------------------|
| 1 | 佐々木 悠 | 8 級 (広島拳法クラブ) |
| 2 | 谷川 隼人 | 7 級 (香川拳法クラブ) |
| 3 | 吉田陽之介 | 6 級 (岡山 / 瀬戸内道場) |
| 4 | 野端 一葵 | 9 級 (広島拳法クラブ) |
| 5 | 谷本真之輔 | 6 級 (岡山 / 総社道場) |
| 6 | 原 泰伸 | 6 級 (徳島 / 方上拳法クラブ) |
| 7 | 坂口 慎弥 | 5 級 (岡山 / 瀬戸内道場) |

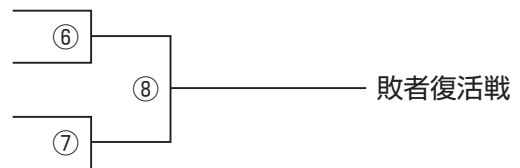


①の敗者

②の敗者

③の敗者

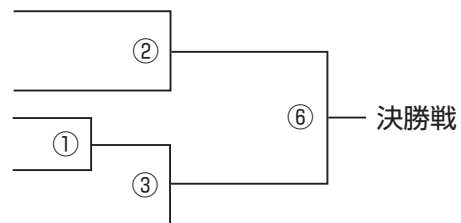
④の敗者



選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

■小学1・2年生女子の部 6 試合

- | | | |
|---|-------|------------------|
| 1 | 高橋 典子 | 8 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 2 | 矢野 百姫 | 9 級 (愛媛 / 東温拳友会) |
| 3 | 田村 百萌 | 8 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 4 | 富士原遥香 | 無級 (拳心館広島支部) |
| 5 | 伊藤 凜香 | 8 級 (愛媛 / 今治拳友会) |



①の敗者

②の敗者

③の敗者



選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

試合組み合わせ

■小学3年生の部 12 試合

- | | | |
|---|-------|--------------------|
| 1 | 新舎 拓巳 | 4 級 (岡山道場) |
| 2 | 富士原直輝 | 無級 (拳心館広島支部) |
| 3 | 廣瀬 寛人 | 8 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 4 | 原田 壱成 | 5 級 (徳島 / 方上拳法クラブ) |
| 5 | 光永 直哉 | 6 級 (徳島 / 土成道場) |
| 6 | 門田 佳大 | 7 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 7 | 村澤 悠太 | 7 級 (岡山 / 総社道場) |
| 8 | 柴田 亮汰 | 6 級 (徳島 / 楠州会) |
| 9 | 森田 直人 | 6 級 (香川拳法クラブ) |

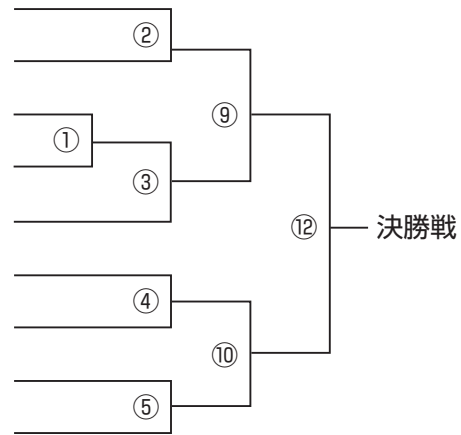
①の敗者

②の敗者

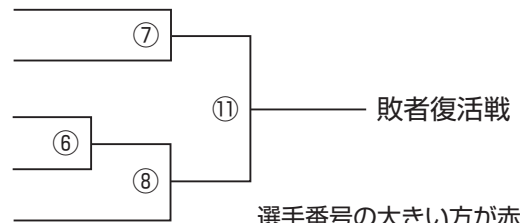
③の敗者

④の敗者

⑤の敗者



決勝戦



敗者復活戦

選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

■小学4年生男子の部 16 試合

- | | | |
|----|-------|--------------------|
| 1 | 郡 新大 | 3 級 (徳島 / 国府道場) |
| 2 | 築本 昭広 | 4 級 (徳島 / 方上拳法クラブ) |
| 3 | 坂東 雄斗 | 8 級 (徳島 / 土成道場) |
| 4 | 富永 優 | 7 級 (徳島 / 志道館) |
| 5 | 植月 嵐丸 | 6 級 (広島拳友会) |
| 6 | 世戸 峻登 | 5 級 (徳島 / 土成道場) |
| 7 | 西田 瑞希 | 5 級 (徳島 / 方上拳法クラブ) |
| 8 | 梶原 千聖 | 3 級 (徳島 / 国府道場) |
| 9 | 原田 紫斗 | 8 級 (徳島 / 土成道場) |
| 10 | 山口 蓮 | 6 級 (広島拳法クラブ) |
| 11 | 丸岡 誠 | 3 級 (徳島 / 国府道場) |

①の敗者

②の敗者

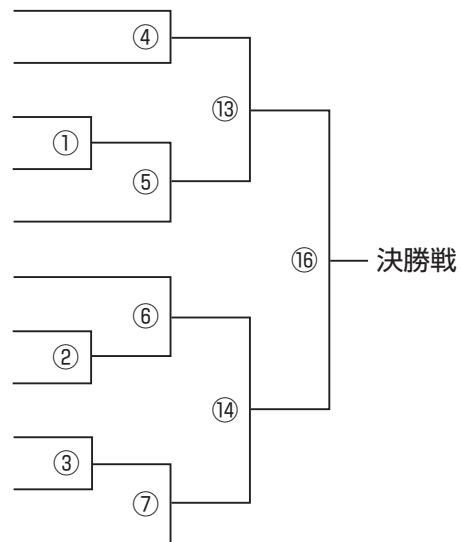
③の敗者

④の敗者

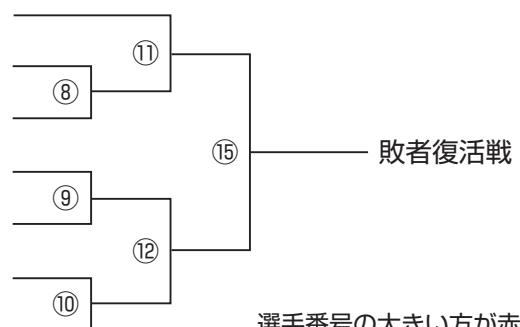
⑤の敗者

⑥の敗者

⑦の敗者



決勝戦



敗者復活戦

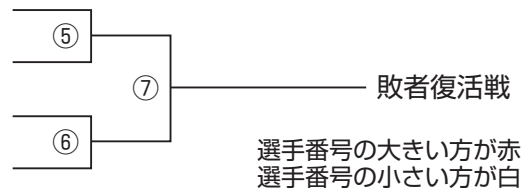
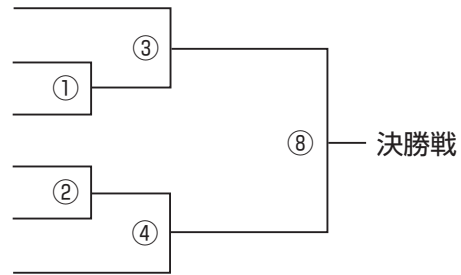
選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

試合組み合わせ

■小学4年生女子の部 8 試合

- | | | |
|---|--------|------------------|
| 1 | 原田 実和 | 3 級 (徳島 / 国府道場) |
| 2 | 浜本ひまり | 8 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 3 | 松永 麻鈴 | 6 級 (徳島 / 楠州会) |
| 4 | 宗本 有由 | 8 級 (徳島 / 楠州会) |
| 5 | 門田 茉那美 | 7 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 6 | 橋本 奈実 | 7 級 (徳島 / 国府道場) |

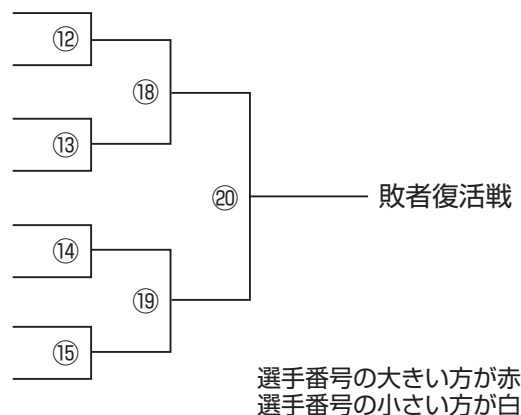
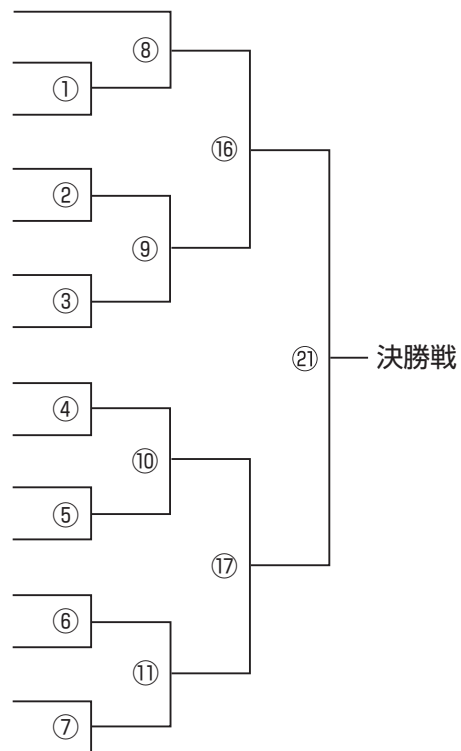
- ①の敗者
②の敗者
③の敗者
④の敗者



■小学5年生の部 21 試合

- | | | |
|----|--------|--------------------|
| 1 | 井村 直貴 | 5 級 (広島拳法クラブ) |
| 2 | 馬野 頑志 | 4 級 (岡山道場) |
| 3 | 春藤 海成 | 3 級 (徳島 / 土成道場) |
| 4 | 田中 裕也 | 5 級 (徳島 / 志道館) |
| 5 | 山本 日向 | 3 級 (徳島 / 土成道場) |
| 6 | 松本 隆世 | 3 級 (徳島 / 方上拳法クラブ) |
| 7 | 南 颯馬 | 3 級 (徳島 / 国府道場) |
| 8 | 今石 開登 | 4 級 (広島拳法クラブ) |
| 9 | 本田 遼馬 | 3 級 (徳島 / 国府道場) |
| 10 | 谷川 百華 | 7 級 (香川拳法クラブ) |
| 11 | 鈴木 綜一郎 | 8 級 (徳島 / 土成道場) |
| 12 | 佐藤 快星 | 7 級 (広島拳法クラブ) |
| 13 | 山本 悠 | 無級 (愛媛 / 松山拳友会) |
| 14 | 黒津 快斗 | 5 級 (徳島 / 楠州会) |
| 15 | 川部 翔太 | 3 級 (岡山 / 瀬戸内道場) |

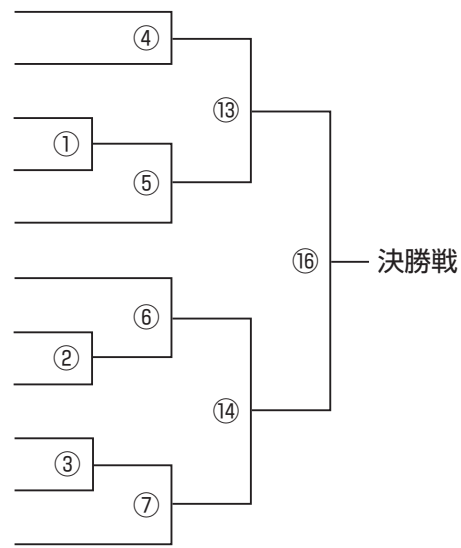
- ①の敗者
②の敗者
③の敗者
④の敗者
⑤の敗者
⑥の敗者
⑦の敗者
⑧の敗者



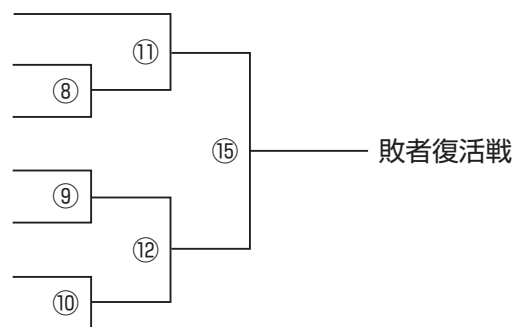
試合組み合わせ

■小学6年生の部 16 試合

1	森川 陽貴	2 級 (徳島 / 土成道場)
2	内田 大貴	4 級 (岡山 / 瀬戸内道場)
3	富永 涼	7 級 (徳島 / 志道館)
4	楠橋 美里	5 級 (愛媛 / 今治拳友会)
5	光永 達哉	3 級 (徳島 / 土成道場)
6	藤原 仁	3 級 (岡山 / 瀬戸内道場)
7	米原 悠人	3 級 (徳島 / 土成道場)
8	矢畑 克騎	6 級 (愛媛 / 今治拳友会)
9	鈴田 真生	3 級 (徳島 / 土成道場)
10	三馬 恭佑	4 級 (徳島 / 国府道場)
11	武間 圭吾	2 級 (徳島 / 方上拳法クラブ)



- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者
- ④の敗者
- ⑤の敗者
- ⑥の敗者
- ⑦の敗者

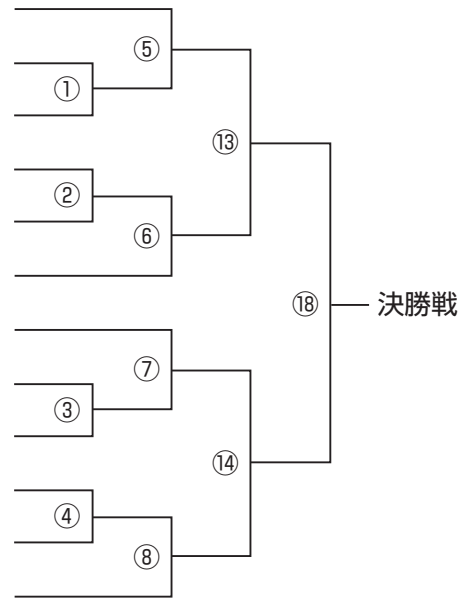


選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

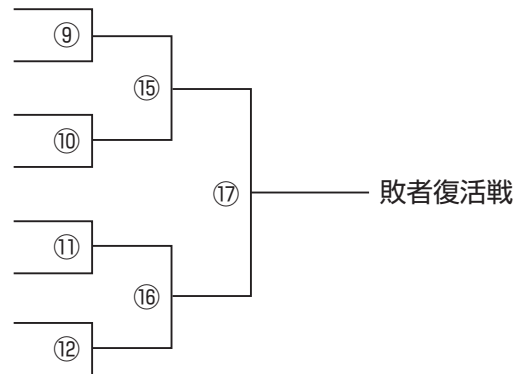
試合組み合わせ

■中学生男子の部 18 試合

- | | | | |
|----|--------------|-------------|------------------|
| 1 | まつお
松尾 | としき
俊季 | 2 級 (徳島 / 土成道場) |
| 2 | せと
世戸 | しょうき
祥貴 | 2 級 (徳島 / 土成道場) |
| 3 | もりた
森田 | ゆうと
悠斗 | 2 級 (香川拳法クラブ) |
| 4 | みま
三馬 | かずき
和希 | 4 級 (徳島 / 国府道場) |
| 5 | ひめだ
姫田 | しゅうせい
秀成 | 3 級 (徳島 / 土成道場) |
| 6 | やまもと
山元 | りゅういち
竜一 | 3 級 (岡山 / 瀬戸内道場) |
| 7 | しゅんどう
春藤 | ゆうせい
優成 | 2 級 (徳島 / 土成道場) |
| 8 | まるおか
丸岡 | かずき
和生 | 無級 (徳島 / 国府道場) |
| 9 | うちだ
内田 | けんすけ
健介 | 2 級 (岡山 / 瀬戸内道場) |
| 10 | いまいし
今石 | ゆうひ
優飛 | 4 級 (広島拳法クラブ) |
| 11 | やばた
矢畑 | はやと
楓斗 | 無級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 12 | おおい
大戸井啓人 | ひろひと
啓人 | 3 級 (徳島 / 土成道場) |



- ①の敗者
- ②の敗者
- ③の敗者
- ④の敗者
- ⑤の敗者
- ⑥の敗者
- ⑦の敗者
- ⑧の敗者

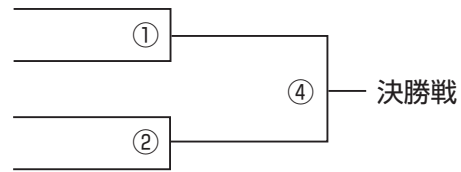


選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

試合組み合わせ

■中学生女子の部 4 試合

- | | | | |
|---|-------------------------------|---------------------------|------------------|
| 1 | <small>ふじわら</small>
藤原 | <small>つばさ</small>
翼 | 1 級 (岡山 / 瀬戸内道場) |
| 2 | <small>たかはし</small>
高橋 | <small>かえ</small>
佳江 | 5 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 3 | <small>かわさき</small>
川崎 | <small>もえこ</small>
百恵子 | 4 級 (岡山 / 瀬戸内道場) |
| 4 | <small>にのみやはるか</small>
二ノ宮 | <small>遥香</small>
遥香 | 2 級 (広島拳法クラブ) |



①の敗者

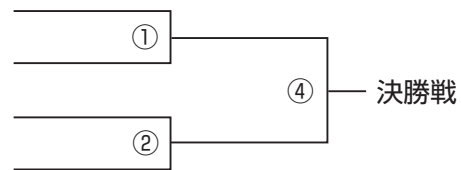
②の敗者



選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

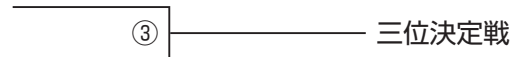
■一般女子の部 4 試合

- | | | | |
|---|--------------------------------|--------------------------|------------------|
| 1 | <small>きむら</small>
木村 | <small>ゆうり</small>
優里 | 2 級 (広島大学) |
| 2 | <small>たむらまゆみ</small>
田村麻由美 | | 3 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 3 | <small>くすはし</small>
楠橋 | <small>けいこ</small>
慶子 | 2 級 (愛媛 / 今治拳友会) |
| 4 | <small>おかべきよこ</small>
岡部起代子 | | 7 級 (愛媛 / 今治拳友会) |



①の敗者

②の敗者



選手番号の大きい方が赤
選手番号の小さい方が白

試合組み合わせ

■一般段外の部

1	おおぐち かずま 大口 和真	1 級 (岡山商大)
2	まえだ かずたか 前田 和孝	3 級 (広島大学)
3	ふくしま くすお 福島 楠生	無級 (陸自善通寺)
4	やまべ しんや 山邊 伸也	無級 (愛媛 / 松山拳友会)
5	くろぎき かんじ 黒崎 幹治	無級 (陸自善通寺)
6	たかはし けん 高橋 憲人	2 級 (岡山商大)
7	ひらの こうた 平野 航太	無級 (愛媛 / 今治拳友会)
8	みやがわ しょうぞう 宮川 昇蔵	無級 (陸自善通寺)
9	おち ひろやす 越智 裕保	無級 (愛媛 / 今治拳友会)
10	すごう だいち 須郷 大地	2 級 (岡山商大)
11	かわむら かずき 川村 一喜	2 級 (岡山道場)
12	はせ ともあき 長谷 知明	無級 (陸自善通寺)
13	やまなか けんたろう 山中 謙太郎	1 級 (広島大学)
14	い て はるなが 井手 張良	1 級 (徳島大学)
15	あ べ なおひと 阿部 直仁	1 級 (愛媛 / 今治拳友会)
16	さかたに しゅうじ 坂谷 周二	無級 (陸自善通寺)
17	せんたに なおき 千谷 尚輝	無級 (徳島大学)
18	あんどう むねひさ 安藤 宗久	1 級 (岡山商大)
19	そ ね たつき 曽根 龍貴	1 級 (香川拳法クラブ)
20	つちおか ひろかず 土岡 寛和	2 級 (広島大学)
21	おかだ だいき 岡田 大樹	無級 (陸自善通寺)
22	あ お き たかふみ 青木 隆文	無級 (陸自善通寺)
23	ごうだ はじめ 合田 創	3 級 (愛媛 / 松山拳友会)
24	みやさと ゆ き や 宮里 優紀也	無級 (愛媛 / 今治拳友会)
25	かどた かずひさ 門田 和久	2 級 (高知拳法クラブ)
26	やまぐち つよし 山口 毅	無級 (陸自善通寺)
27	いなもと ひろたか 稲本 博孝	1 級 (岡山商大)



試合組み合わせ

②⑥	②④	②⑩	⑫	28	おおた じゅん 大田 隼	1 級 (岡山商大)
			①	29	おおたに しょうじ 大谷 翔司	無級 (陸自善通寺)
				30	よしだしゅういちろう 吉田修一郎	2 級 (広島大学)
		⑬	②	31	まつもと とおる 松本 徹	1 級 (愛媛 / 今治拳友会)
				32	てらもと よしふみ 寺本 嘉文	1 級 (香川拳法クラブ)
			③	33	まつおか まさよし 松岡 雅芳	無級 (陸自善通寺)
	②①	⑭		34	かしま こうじ 加島 浩二	1 級 (徳島 / 志道館)
				35	いわつ みらい 岩津 未来	2 級 (岡山商大)
			④	36	さがわ まさたか 佐川 匡貴	3 級 (香川拳法クラブ)
		⑮		37	こんどう ひろあき 近藤 弘章	2 級 (愛媛 / 松山拳友会)
			⑤	38	みやた かずま 宮田 一真	3 級 (岡山商大)
			⑥	39	うえた こうき 上田 晃輝	無級 (徳島 / 国府道場)
②⑤	②②	⑯		40	お ち しゅうじ 越智 周次	無級 (陸自善通寺)
				41	まなべ ゆうや 真鍋 祐矢	1 級 (徳島大学)
			⑦	42	にしがわ だいすけ 西川 大祐	1 級 (徳島大学)
		⑰		43	ふくさき つよし 福崎 剛史	無級 (陸自善通寺)
			⑧	44	うえた たかし 植田 高志	1 級 (高知拳法クラブ)
			⑨	45	いのうえ しょうた 井上 翔太	無級 (陸自善通寺)
	②③	⑱		46	まえだ こうき 前田 晃輝	2 級 (広島大学)
				47	たかもり みきや 高森 幹哉	3 級 (岡山商大)
			⑩	48	やばた かずや 矢畑 和哉	無級 (愛媛 / 今治拳友会)
		⑲		49	いたみ くにひろ 伊丹 邦廣	無級 (陸自善通寺)
			⑪	50	おおもと かずのり 大元 一憲	2 級 (岡山商大)
				51	はまお ひろみつ 濱尾 紘光	1 級 (徳島県支部)
②④	⑲	⑳		52	いしい ふ み か 石井扶美賀	無級 (陸自善通寺)
				53	はやせ のぶみ 早瀬 誠臣	3 級 (愛媛 / 今治拳友会)
				54	たかはし りょう 高橋 諒	1 級 (岡山商大)

日本拳法愛媛県選手権大会 歴代戦績一覧

2006 年(平成 18 年) 9 月 3 日 **第 1 回 (個人戦)** 松山市/愛媛県立武道館

試合部門	優勝	準優勝	第 3 位	
一般(段外者)	越智 拓也 2 級 (松山拳友会)	松岡 達矢 1 級 (岡山商大)	竹田 正 3 級 (自衛隊/高知)	
一般(有段者)	坂井 栄治 参段 (徳島/本部道場)	林 利明 参段 (徳島/本部道場)	久米 敦 参段 (徳島大)	

2007 年(平成 19 年) 4 月 22 日 **第 2 回 (個人戦)** 松山市/愛媛県立武道館

試合部門	優勝	準優勝	第 3 位	
一般(段外者)	大岡 忍 1 級 (自衛隊/善通寺)	中原 雅貴 1 級 (徳島/本部道場)	浜田 武 1 級 (自衛隊/善通寺)	
一般(有段者)	佐藤 智之 四段 (香川拳法クラブ)	桑井 隆和 参段 (徳島県支部)	坂井 栄治 参段 (徳島/本部道場)	

2007 年(平成 19 年) 9 月 2 日 **第 3 回 (団体戦)** 松山市/愛媛県立武道館

試合部門	優勝	準優勝	第 3 位	
【団体】	香川拳法クラブ	岡山拳桃会	岡山商科大学拳法部 A	

2008 年(平成 20 年) 10 月 5 日 **第 4 回 (団体戦) (個人戦)** 松山市/愛媛県立武道館

試合部門	優勝	準優勝	第 3 位	第 3 位
小学 1・2 年生	丸岡 誠 6 級 (国府道場)	植月嵐丸 8 級 (広島拳友会)	石原 拳士郎 8 級 (国府道場)	郡 新大 6 級 (国府道場)
小学 3・4 年生	中村 友哉 4 級 (国府道場)	南 颯馬 5 級 (国府道場)	石原 慎之介 5 級 (国府道場)	石川 大樹 6 級 (国府道場)
小学 5・6 年生	富尾 哲也 3 級 (国府道場)	中島 彩都子 7 級 (広島拳友会)	三馬 和希 6 級 (国府道場)	廣瀬 泰巳 2 級 (もののふ塾)
中学生	上田 晃輝 1 級 (国府道場)	濱尾 紘光 1 級 (徳島県支部)	壺内 雄平 無級 (今治拳友会)	
女子・一般	山中 梨沙 2 級 (香川拳法クラブ)			
一般(段外者)	永野 一水 3 級 (国府道場)	長橋 伸二 1 級 (今治拳友会)	藤江 瑞樹 3 級 (岡山商科大学)	
一般(有段者)	佐藤 正則 四段 (香川拳法クラブ)	綾 亮 四段 (広島拳法クラブ)	佐藤 智之 四段 (香川拳法クラブ)	
【団体】	香川拳法クラブ	岡山商科大学拳法部 A	岡山商科大学拳桃会と 瀬戸内道場	日本拳法連盟 徳島県支部

※少年の部公開競技

日本拳法愛媛県選手権大会 歴代戦績一覧

2009 年(平成 21 年) 10 月 4 日

第 5 回(団体戦) (個人戦) 今治市/緑の広場(運動公園)総合体育館

試合部門	優勝	準優勝	第 3 位	敢闘賞
幼年	高橋 典子 9 級 (今治拳友会)	伊藤 凜香 9 級 (今治拳友会)	田村 百萌 8 級 (今治拳友会)	田村 虎太郎 10 級 (今治拳友会) 富士原 遥香 無級 (拳心館広島支部)
小学 1 年生	佐々木 悠 9 級 (広島拳法クラブ)	坂口 慎弥 無級 (岡山/瀬戸内道場)	吉田 陽之介 無級 (岡山/瀬戸内道場)	野端 一葵 無級 (広島拳法クラブ)
小学 2 年生	新舍 拓巳 5 級 (岡山/岡山道場)	森田 直人 7 級 (香川拳法クラブ)	石原 拳士郎 6 級 (徳島/国府道場)	本田 義人 6 級 (徳島/国府道場)
小学 3 年生	郡 新大 4 級 (徳島/国府道場)	丸岡 誠 4 級 (徳島/国府道場)	植月 嵐丸 7 級 (広島拳友会)	吉田 かな 無級 (岡山/瀬戸内道場)
小学 4 年生	井村 直貴 6 級 (広島拳法クラブ)	石川 大樹 4 級 (徳島/国府道場)	山下 司 8 級 (広島拳友会)	川部 翔太 4 級 (岡山/瀬戸内道場)
小学 5 年生	藤原 仁 4 級 (岡山/瀬戸内道場)	内田 大貴 4 級 (岡山/瀬戸内道場)	井川 雅大 3 級 (徳島/国府道場)	近藤 元 7 級 (今治拳友会)
小学 6 年生	今石 優飛 4 級 (広島拳法クラブ)	高橋 佳江 7 級 (今治拳友会)	長橋 龍我 8 級 (今治拳友会)	
中学生	上田 晃輝 1 級 (徳島/国府道場)	藤原 翼 2 級 (岡山/瀬戸内道場)	内田 健介 3 級 (岡山/瀬戸内道場)	吉田 ゆい 7 級 (今治拳友会)
女子・一般	山中 智視 1 級 (香川拳法クラブ)	山中 梨沙 2 級 (香川拳法クラブ)	稲本 美佐子 3 級 (今治拳友会)	楠橋 慶子 3 級 (今治拳友会) 田村 麻由美 7 級 (今治拳友会)
一般(段外者)	重井 佳章 1 級 (香川拳法クラブ)	藤本 宏昭 無級 (香川/善通寺自衛隊)	村尾 亮 2 級 (香川拳法クラブ)	細野 翔太 1 級 (岡山商科大学)
【団体】	日本拳法連盟 徳島県支部	香川拳法クラブ A	岡山商科大学拳桃会 と瀬戸内道場	岡山商科大学拳法部 A

※少年の部正式競技

日本拳法を初めてご覧になる方のために

日本拳法は、拳技および蹴技の他に組枝(投げ技、関節技)を加えた独自のスポーツであります。

特色

防具を使用することによって被撃傷害をなくし、選手が自由に、力一杯に試合を行い得る様になっています。防具は面、胴、股当てを用い、手はグローブをはめて試合を行います。この防具によって、かつてはできなかった蹴技を混えた拳法の試合が可能となったのであります。

試合に見られる主な技

●拳技

- ①直突き＝ボクシングのストレートに相当するもので、専門的には素突(ボクシングのストレートに殆ど同じ)、捻突(空手の突によく用いられるもの)、波動拳(手首の捻転力を最大限に利用する日本拳法独自の突き)等の種類があります。
- ②横打＝ボクシングのスイング・フックの類。
- ③外打＝いわゆるバックハンドで横打と反対の方向へ外側に向かって打つ打法。
- ④斜打＝横打の要領で、斜めに拳を打ち下ろす打法。
- ⑤場打＝ボクシングのアップercutに相当。

●蹴技

- ①突蹴＝足で突く様にする蹴り方で、日本拳法では一番よく使われます。
- ②揚蹴＝下から蹴り揚げる蹴り方。
- ③横蹴＝横から回して蹴る。
- ④膝蹴＝相手に組みついた際などに使う。膝頭による蹴打。
- ⑤踏蹴＝倒れた相手などに用いる踏みの蹴。

●防御技

以上の拳、蹴技に対しては、体とかわしと受手で防ぎます。かわしには、反身、退身、側身、開身、沈身、潜身の6つと、受手には横受、上受、下受、掬受の4つがあり、これが様々に応用され、またかわしと受が一緒になって防技となります。

組打ち技にも色々ありますが、ここでは省略します。

試合のみどころ

●体力の優れた選手は、投げ技、関節技等によって相手を制して技を決めようとするのに対し、非力のものは組み技を避けて拳足でする突き、蹴り等にて勝ちを制しようとするので、その作戦の巧拙を見ると非常に興味深いものがあります。

●選手が狙うチャンス

- ①相手が気合を抜いて動きを止めた瞬間。
- ②相手の技が外れた直後で相手の体勢が崩れた瞬間をすかさず追い込んで打つ。
- ③相手が技を出そうとして一瞬迷った瞬間を狙う。
- ④相手を投げた場合すかさずつけ入って一瞬にして技を決める。
- ⑤試合開始直後、相手が不用意に立った瞬間を狙う。

●小さくとも、また音がしなくとも十分に利く技がありますので、その様な点にも注意で見られると興味が倍加します。